

8-4-26 設計ソフトウェア連絡WG

1. 主な活動の記録

(1) 組織

道路構造物専門委員会 4 名、道路専門委員会 1 名、河川構造物専門委員会 1 名の計 6 名で活動を行った。

(2) 「各種設計ソフトウェアに対する建設コンサルタントの意見要望の収集とそれに対するソフトウェア各社の回答」の整理と分析

設計ソフトウェア連絡 WG は、設計計算の効率化・精度向上および設計計算に関連するエラー防止対策の一環として、ソフトウェアの提供者であるソフトウェア会社とそれを利用する建設コンサルタントが相互に抱える課題を認識・共有し、双方の成果(ソフトウェア・設計計算書)の「品質確保」と「品質向上」を図ることを目的とする。

① 各専門分野(構造・道路・河川)の設計ソフトウェアに関するアンケート調査票(意見・改善要望)を各分野の専門委員会に配布し、建設コンサルタント各社から既存ソフトウェアに関する意見・要望を収集し、とりまとめた。

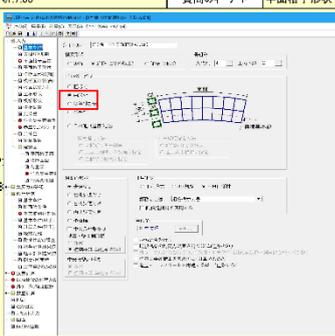
② 収集したアンケート結果を構造・道路・河川それぞれの対象となるソフトウェア各社に送付し、意見・要望に対する見解および解答を回収し、とりまとめた。

③ ソフトウェアベンダー各社からの見解および解答について、本ワーキングで、質問に対する回答として齟齬がないか、質問者の意図に対する回答であるか、質問・回答ともに不明確な点やあいまいな点がないか…等の内容について精査し、それに当てはまるアンケートの質問者(建設コンサルタント)・回答者(ソフトウェア各社)に相互確認を行った上で、報告書としてとりまとめた。

④ とりまとめた報告書は、各分野の専門委員会に配布し、次年度初頭の各委員会開催時に内容の説明を行い、現時点における設計ソフトウェアの対応状況などを共有する予定である。

アンケート結果が得られた工種は、構造・道路・河川・その他を含め以下のとおりである。

鋼構造 : 3 件
 下部構造 : 2 件
 耐震設計 : 6 件
 樋門構造 : 5 件
 その他 : 8 件

| プログラム名 | JSP-1W V7 非合成桁の概略自動設計 | 設計対象 | 鋼桁橋、鋼梁桁橋 |
|------------------------|---|----------|----------|
| (バージョン) | Ver.7.03 | 質問のキーワード | 平面格子形状 |
| 間違いやすい箇所 or 改善要望 |  | | |
| エラー事例 | 曲線+斜角を計算できるようにしてほしい。 現在、上記の計算を行う場合、座標入力が必要があるが、条件設定で計算できるようにしてほしい。 また、斜角の角度も概桁位置で入力できるようにしてほしい。 | | |
| 対策 | | | |
| ソフトウェア会社回答 | 現状は平面格子形状”座標入力”で対応可能ですが、メンテ候補項目として今後検討させていただきます。 | | |

図一アンケート結果の一例

2. 次年度の活動について

令和 7 年度は以下の活動を継続的に実施する。

- (1) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査(不具合・改善要望・提案)の実施(構造・道路・河川)※BIM/CIMに関連したソフトウェアについてもアンケート調査対象とする予定
- (2) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査結果の課題収集と整理・分析
- (3) アンケート調査結果に対するソフトウェアベンダーの回答のとりまとめおよび必要事項についての調整
- (4) 協会ホームページへアップロードされているエラー事例の保守と新たな事例等の追加

(設計ソフトウェア連絡WG WG長

石井 岳生)